

山形県工業技術センターシーズ集（繊維分野）
紅花染めウールの染色性向上技術

アニオン性界面活性剤を添加しウールトップの紅花染めを行うことで、均染性や染色堅ろう度を向上させることができます。

カチオン化によって改質したウールは、先染まりで斑^{まだら}になり易いことが問題となる場合がありますが、原料のトップ染めでアニオン性界面活性剤を添加することで、汗に対する染色堅ろう度で綿に対する汚染の色差を約半分に低減することが可能です。

トップ染めウールの紡績糸で試作したカーペットは、カットパイル組織が内部まで均一に染色されていることを確認できます。



均染剤なし



均染剤あり

紅花染料の赤色色素はアニオン性のため、同じアニオン性の界面活性剤を添加することで、ウールへの染着速度が低下することで、先染まりによる斑を防ぐことが可能となります。